

聖霊降臨節第25週 聖餐礼拝

2021年11月7日 第一礼拝(午前8:30~) 第二礼拝(午前10:30~) 第三礼拝(午後2:00~)

前奏	(新聖歌114)		
聖餐の招詞	司	会者
開会の賛美	新聖歌46「わが主よ 今ここにて」.....	—	同
代表祈禱	司	会者
聖餐の拝領	—	同
聖書朗読	『創世記』22章6-14節(旧約p.34).....	司	会者
黙想	(3分間の換気を行います).....	—	同
説教	「代わることのできない身代わり」.....	近	伸之牧師
感謝の献金	新聖歌297「神はわが力」.....	—	同
諸報告	司	会者
※頌栄の賛美	新聖歌60「天地こそりて」.....	—	同
※祝福の祈り	近	伸之牧師
※後奏	(新聖歌59-4)		

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立をお願いします)
(演奏機の曲は、楽譜と違う表現で流れる事があります)

聖餐第一礼拝	司会：近 伸之牧師 集 会：沼田佐代子姉	奏楽・操作：近 ゆかり姉	配 餐：近 伸之牧師 献金カゴ：有志
聖餐第二礼拝	司会：近 伸之牧師 集 会：笹川 清子姉	奏楽・操作：近 ゆかり姉	配 餐：担当役員 献金カゴ：倉島 幹夫兄
教会学校	担 当：佐藤 繁実兄		
聖餐第三礼拝	司会：近 伸之牧師 記 録：有志	音響操作：近ゆかり姉、他	配 餐：担当役員 献金カゴ：猪爪 和美姉

今週の暗唱聖句

御使いは言われた。「その子に手を下してはならない。その子に何もしてはならない。今わたしは、あなたが神を恐れていることがよく分かった。あなたは、自分の子、自分のひとり子さえ惜しむことがなかった。」
(『創世記』22章12節)

一年間で聖書通読

11/ 8(月)	『箴言』19~21章	『コリント人への手紙 第二』2章
11/ 9(火)	『箴言』22~23章	『コリント人への手紙 第二』3章
11/10(水)	『箴言』24~26章	『コリント人への手紙 第二』4章
11/11(木)	『箴言』27~29章	『コリント人への手紙 第二』5章
11/12(金)	『箴言』30~31章	『コリント人への手紙 第二』6章
11/13(土)	『伝道者の書』1~4章	『コリント人への手紙 第二』7章
11/14(日)	『伝道者の書』5~8章	『コリント人への手紙 第二』8章

個人、団体からの来信 [10/26(火)~11/2(月)] 2021年11月7日

宣教区役務者会の議事録[10月17日(日)に開催分]/
新潟福音放送協力会よりニュースレターNo.286/
村上福音キリスト教会より、領収書/佐々木昇先生よりハガキ

諸集会の報告

10/31(日)	教会学校	幼児男子1 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児計1 成人男性1 幼児女子1 小学女子2 中学女子- 高校女子- 女児計3 成人女性-
第一礼拝	男5 女4	第二礼拝 男4 女10
第二礼拝	男5 女5	子ども 男児1 女児3
男性合計12 女性合計17		11/5(金) しゃべり場タビタ
		11/3(水・祝) パルナバ祈禱会
		11/5(金) 金曜祈禱会
※月に一回、書道教室を開催		10月/読書会
※月に二回、月曜家庭集會を開催		10/7(木)男1 女3 10/21(木)都合により休会
		10/16(土)男- 女6

諸集会のご案内

書道教室	11/8(月)午前9:30	『ヨハネの福音書』15章1, 9, 31, 5節
月曜家庭集會	11/8(月)午後8:00	山崎岩雄兄宅
ネヘミヤ祈禱会	11/10(水)午後7:30	教会堂
※月に二回、読書会を開催		当番・献金加：片山 勝三兄
※11/12(金)、希望者で村上福音キリスト教会見学		問い合わせ先：猪爪 和美姉
同問合せ窓口：渡邊 智子姉		
金曜祈禱会	11/12(金)夜	教会堂
※月に一回、こころテラスを開催		

11/14(日) 聖霊降臨節第26週

第一礼拝	司会：片山 勝三兄 午前8:30~ 集 会：沼田佐代子姉	音響操作：近 ゆかり姉	献金カゴ：有志
第二礼拝	司会：近 伸之牧師 午前10:30~ 集 会：長谷川睦子姉	音響操作：山岸あけみ姉	献金カゴ：森田 澄子姉
教会学校	午後1:00~	担 当：片山 初子姉	
第三礼拝	司会：片山 浩司兄 午後2:00~ 記 録：牧師家	音響操作：近ゆかり姉、他	献金カゴ：猪爪 和美姉
教会学校奉仕	11/ 7[佐藤兄] 11/14[片山姉] 11/21[近牧師] 11/28[佐藤兄]	礼拝時に、子ども祝福式を行います	
ゴミ・掃除当番	1週目[佐藤姉] 2週目[小林姉] 3週目[長谷川姉] 4週目[横堀姉]		
主日の予定	新聖歌：23, 298, 61	正 午 一斉防災訓練	午後3時50分 会堂建設準備委員会

報 告

1. 礼拝の感謝
主日礼拝の恵みを感謝します。本日は聖餐式を執り行いました。それぞれがいただいた主からの恵みを心に刻みつけて新たな1ヶ月を歩みましょう。
2. 教団の発行誌について
9月23日付で追悼誌が発行されたので、閲覧用に会堂においています。持ち帰ってお読みにになりたい方は専用の貸出簿へご記入をお願いします。また、今月22日付で『日本同盟基督教団130年史』が発行されます。一冊1600円(税込)です。ご希望の方は、11月17日(水)を目途にお申し込みください。
3. 今週の予定
11月10日(水) 午後1時30分より 教団・退職金委員会[オンライン開催]
11月13日(土) 午後5時30分より 宣教区臨時役務者会[オンライン開催]
- 4.

6 アブラハムは全焼のささげ物のための薪を取り、それを息子イサクに背負わせ、火と刃物を手に取った。二人は一緒に進んで行った。7 イサクは父アブラハムに話しかけて言った。「お父さん。」彼は「何だ。わが子よ」と答えた。イサクは尋ねた。「火と薪はありますが、全焼のささげ物にする羊は、どこにいるのですか。」8 アブラハムは答えた。「わが子よ、神ご自身が、全焼のささげ物の羊を備えてくださるのだ。」こうして二人は一緒に進んで行った。9 神がアブラハムにお告げになった場所に彼らが着いたとき、アブラハムは、そこに祭壇を築いて薪を並べた。そして息子イサクを縛り、彼を祭壇の上の薪の上に載せた。10 アブラハムは手を伸ばして刃物を取り、息子を屠ろうとした。11 そのとき、【主】の使いが天から彼に呼びかけられた。「アブラハム、アブラハム。」彼は答えた。「はい、ここにおります。」12 御使いは言われた。「その子に手を下してはならない。その子に何もしてはならない。今わたしは、あなたが神を恐れていることがよく分かった。あなたは、自分の子、自分のひとり子さえ惜しむことがなかった。」13 アブラハムが目を上げて見ると、見よ、一匹の雄羊が角を藪に引っかけていた。アブラハムは行って、その雄羊を取り、それを自分の息子の代わりに、全焼のささげ物として献げた。14 アブラハムは、その場所の名をアドナイ・イルエと呼んだ。今日も、「【主】の山には備えがある」と言われている。

説教メモ

1. アブラハムの信仰は、現代人にはむしろ「狂信(盲信)」と解釈される。だがこのできごとは、イエスの十字架の犠牲を預言している。イサクの死は直前でとどめられ、雄羊が備えられたが、イエスの十字架は決して止まらなかった。すべての罪人の身代わりとなられた方は、雄羊どころか、誰も代わることができないのだ。
2. 父なる神は、どんな思いで十字架を見つめていたのか、想像は尽きない。だが十字架上で、イエスは父なる神にさえのろわれる者とされたことを忘れてはならない。世人には理解できないその苦しみは、すべて私たち罪人が救われるためだった。この方であって罪のろい、そしてさばきは完全に取り除かれている。

毎週土曜日 朝5:15～5:45 BSNテレビにて放送中
★24時間テレホンサービス『でんわ世の光』025(272)3592

11/13(土)「永遠の希望」ユーオーディア管弦楽団・合唱団 柳瀬 洋さん、姫野 徹さん

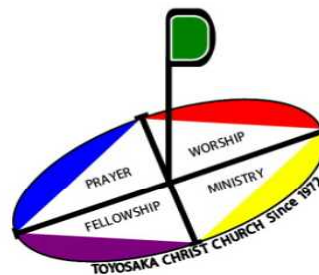
先月に引き続き、この7月に東京で開催された「第27回 ユーオーディア 賛美の夕べ」を紹介いたします。今回の「賛美の夕べ」は「永遠の絆、永遠の希望」というテーマで開催されました。先月は「永遠の絆」についてお話を伺いましたが、今月はもう一つのテーマ、「永遠の希望」について、ユーオーディア代表の柳瀬洋さん(写真左)、指揮者の姫野徹さん(写真右)にお話を伺うとともに、ユーオーディア管弦楽団・合唱団の演奏をお届けします。



カラヴァッジョ『イサクの犠牲』(1603年、フィレンツェ・ウフィツィ美術館蔵)

教会目標 「現状をよく考え、主にゆだねる」

「あなたがたの歩みをよく考えよ。山に登り、木を運んで来て、宮を建てよ。そうすれば、わたしはそれを喜び、栄光を現す」
(『ハガイ書』1章7、8節)



日本同盟基督教団 新潟山形宣教区
豊栄キリスト教会 (牧師 近 伸之)

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15
TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155
ホームページ: <http://toyosakakyokai.net>
電子メール: info@toyosakakyokai.net
ブログ: <http://toyosakakyokai.sblo.jp>